

II. ボランティア活動実践報告

1. 松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト

(1) 平成 26 年度活動報告

松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト 代表 尻無浜博幸

支援活動4年目として、「カウンセリング活動」と「学習支援活動」の二つの活動を中心に行ってきた。計画通りに実行できたことは多方面からの配慮と理解があつてのことで、人を支える活動が、人に支えられている活動の上にあることを学生共々に実感することができた。

「カウンセリング活動」は、臨床心理士の古林先生が担って下さり、毎月1回、第2木・金曜日に出向き活動を行った。定着が信頼を生み、児童、児童の親、小学校の先生と相談件数は毎回ぎっしりで、支援活動の重要性と先生の存在の重要性を感じる一年であった。

「学習支援活動」は、多くの学生が活動に参加した。また、大街道小学校の児童の参加も相変わらず多く、十分対応できない日もあった。4年目ということで、もっと学生と児童との関わりをもってもらおうと小学校側の配慮から、金曜日の午前の時間、通常授業に学生が参加する機会を多く

作って下さった。教職課程専攻の学生には願ってもない機会になった。(従来、学校行事を中心に関わりを広げてきた実績がある。)

大街道小学校においては、大震災後3年間が経過すると先生方の異動もあり、当初より関わりのあった先生もいなくなり、その後の活動のあり方を心配した。現に、校長先生も換わられた。しかし、結果的にはスムーズに活動を行うことができた。深い理解を示して下さったことに感謝し、そこに繋がった学生の献身的な働きを讃えたいと思う。

石巻市の比較的沿岸部にある小・中学校では、3年が過ぎ不登校が増えてきているという報告があったと大街道小学校の教頭先生からお聞きした。「大街道小学校では変化はないのです。」と言われた。このような報告と一緒に喜べる機会に授かることは大きな喜びである。早速に学生とも共有した次第である。



[資料 1] 松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト活動一覧（平成 26 年度）

前期

| | 日程 | | ボランティア参加人数 | | | | | | 活動内容 | 参加児童数（学年別2日間延べ数） | | | | | | | 責任者 |
|------------|------|--------|------------|-----|----|----|---|----|---|------------------|----|----|----|----|---|-----|-------|
| | 出発日 | ～ 帰省日 | 教員 | 専門家 | 職員 | 学生 | 他 | 計 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 | |
| 1 | 4/10 | ～ 4/11 | 1 | | | | | 1 | ・大街道小学校との打合せ会 | | | | | | | 0 | 木村晴壽 |
| 2 | 4/17 | ～ 4/18 | 1 | | | | | 1 | ・不登校児童との面談 ・保護者との面接 ・担任との話し合い ・授業参観 ・次回の打ち合わせ等 | | | | | | | 0 | 古林康江 |
| 3 | 5/8 | ～ 5/9 | 1 | | | | | 1 | ・不登校児童との面談 ・保護者との面接 ・担任との話し合い ・授業参観 ・次回の打ち合わせ等 | | | | | | | 0 | 古林康江 |
| 4 | 5/29 | ～ 5/30 | 1 | | | | 1 | 2 | ・学習支援 ・校長、教頭へ挨拶 ・6月花山合宿(5年生)打合せ ・外遊びの対応 | 7 | 6 | 8 | 16 | 10 | 3 | 50 | 尻無浜博幸 |
| 5 | 6/12 | ～ 6/13 | 1 | | | | | 1 | ・不登校児童との面談 ・保護者との面接 ・担任との話し合い ・授業参観 ・アンケートに付いて話し合い ・次回の打ち合わせ等 | | | | | | | 0 | 古林康江 |
| 6 | 6/19 | ～ 6/20 | 1 | | | | 8 | 9 | ・学習支援 ・花山合宿打合せ ・外遊びの対応 | 19 | 9 | 13 | 32 | 19 | 0 | 92 | 尻無浜博幸 |
| 8 | 6/24 | ～ 6/27 | 1 | | | | 4 | 5 | ・6/25-27 5年生 花山合宿へ学生同行 | | | | | | | 0 | 尻無浜博幸 |
| 9 | 7/3 | ～ 7/4 | 1 | | | | 4 | 5 | ・学習支援 ・不審者対応訓練打合せ、参加(犯人役) ・大街道南地区引越手伝い ・朝遊び、業間休み、お昼休みの対応 | 7 | 4 | 8 | 13 | 6 | 0 | 38 | 尻無浜博幸 |
| 10 | 7/10 | ～ 7/11 | 1 | | | | 3 | 4 | ・学習支援 ・養護教諭と打合せ ・授業参観 ・児童面接 ・児童の保護者との面接 ・1学期生徒指導反省会へ出席 ・気になる子への支援会議参加 | 16 | 9 | 14 | 30 | 21 | 0 | 90 | 古林康江 |
| 11 | 9/11 | ～ 9/12 | 1 | | | | | 1 | ・2～4年生授業参観 ・児童面接 ・児童の保護者との面談 ・各担任とのミーティング ・養護教諭との連絡会 ・アンケート調査分析 | | | | | | | 0 | 古林康江 |
| 前期 参加者延べ人数 | | | 5 | 5 | 0 | 20 | 0 | 30 | | 49 | 28 | 43 | 91 | 56 | 3 | 270 | |

後期

| | 日程 | | ボランティア参加人数 | | | | | | 活動内容 | 参加児童数（学年別2日間延べ数） | | | | | | | 責任者 | |
|----|-------|---------|------------|-----|----|----|---|----|------|---|----|---|---|----|----|---|-----|-----------|
| | 出発日 | ～ 帰省日 | 教員 | 専門家 | 職員 | 学生 | 他 | 計 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 | | |
| 12 | 10/2 | ～ 10/3 | 1 | | | | | 10 | 11 | ・学習支援 ・外遊び対応 ・応援物資の後片付け | 18 | 5 | 6 | 15 | 9 | 0 | 53 | 尻無浜博幸 |
| 13 | 10/9 | ～ 10/10 | 1 | | | | | 4 | 5 | ・6年生、5年生は学芸会の係会のため参加できない児童が多かった ・10/10は3、4年生が不参加 ・宿題を中心に学習支援 ・校長、教頭との打合せ ・3～6年生授業参観 ・児童面接 ・児童の保護者面接 ・コーディネーターより近況報告 ・支援物資の袋詰め | 20 | 9 | 6 | 11 | 8 | 0 | 54 | 古林康江 |
| 14 | 10/23 | ～ 10/24 | | | | | | 7 | 7 | ・学習支援 | 19 | 4 | 9 | 16 | 12 | 0 | 60 | 今井信繁 (学生) |
| 15 | 11/5 | ～ 11/7 | | | | | | 3 | 3 | ・持久走大会に参加(11月6日) ・学習支援 ・非常時用の備蓄食料の整理 ・校内掃除の手伝い | 10 | 5 | 3 | 12 | 5 | 0 | 35 | 田中 潤 |
| 16 | 11/13 | ～ 11/14 | 1 | | | | | 6 | 7 | ・学習支援 ・保護者面談 ・2年生参観 ・2、4年生担任と話し合い ・養護教諭と連絡報告 ・児童面接 ・1、2、5、6年生授業参観 ・各担任と連絡会 ・校内掃除の手伝い | 22 | 7 | 4 | 11 | 6 | 0 | 50 | 古林康江 |
| 17 | 11/27 | ～ 11/28 | 1 | | | | | 5 | 6 | ・学習支援 ・校内清掃の手伝い(学校の周りのゴミ拾い) ・外遊びの対応 | 17 | 5 | 7 | 17 | 6 | 0 | 52 | 尻無浜博幸 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-------|---|-------|----|----|----|---|--|-----|-----|----|-----|-----|-----|-------|----------|
| 18 | 12/11 | ~ | 12/12 | 1 | 11 | 12 | ・学習支援 ・校内清掃の手伝い(普段児童が掃除しにくい場所など) ・児童面接 ・児童の保護者面接 ・養護教諭との連絡会 | 15 | 8 | 8 | 4 | 5 | 0 | 40 | 古林康江 | |
| 19 | 1/15 | ~ | 1/16 | 1 | | 1 | ・児童との面談 ・母親達との面接 ・担任達、養護教諭との打合せ ・授業参観 | | | | | | | 0 | 古林康江 | |
| 20 | 2/5 | ~ | 2/6 | 1 | 1 | 2 | 4 | ・学習支援 ・授業補助(1年2組風づくり・4年2組新聞づくり) ・養護教諭と連絡会 ・連絡会及び打合せ ・授業参観 ・児童面接 ・児童の保護者面接 ・チラン(プランコの会の制作等) ・心のケア ・SST養教と研究 | 18 | 6 | 3 | 29 | 7 | 0 | 63 | 古林康江 |
| 21 | 2/19 | ~ | 2/21 | 1 | | 5 | 6 | ・学習支援 ・授業補助(2年の写書の書きとり、ドリルの見回り・5年の彫刻刀の見回り・特別学級と交流) ・学校側と授業補助の打合せ ・こころプラザ訪問 ・毎日新聞社取材 | 20 | 11 | 14 | 21 | 13 | 0 | 79 | 尻無浜博幸 |
| 22 | 2/26 | ~ | 2/28 | | | 10 | 10 | ・学習支援 ・授業補助(1年1組、2年1組、3年1組、5年2組、特別支援学級) ・学校側と授業補助の打合せ | 20 | 3 | 8 | 22 | 15 | 0 | 68 | 宮田翔大(学生) |
| 23 | 3/5 | ~ | 3/6 | 1 | 1 | 5 | 7 | ・石巻市教育委員会との打合せ ・学習支援 ・1年1組風あげ ・2年2組漢字プリント ・3年の総合発表に参加 | 22 | 6 | 11 | 30 | 14 | 0 | 83 | 木村晴壽 |
| 24 | 3/21 | ~ | 3/23 | 1 | | | 1 | ・来年度の打合せ等 | | | | | | 0 | 尻無浜博幸 | |
| 後期 参加者延べ人数 | | | | 5 | 6 | 1 | 68 | 0 | 80 | 201 | 69 | 79 | 188 | 100 | 0 | 637 |
| 前・後期 参加者延べ人数 | | | | 10 | 11 | 1 | 88 | 0 | 110 | 250 | 97 | 122 | 279 | 156 | 3 | 907 |

[資料 2] 松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト 会計報告

※文科省委託事業対象外収支

| | | | |
|---|-----------|--------------|-----------------------|
| ■収入の部 | | ■支出の部 | |
| 前年度繰越金 | 753,966 | 旅費・交通費 | 列車代・駐車場代・タクシー代 29,200 |
| フラ・イズアロハ チャリティ | 286,530 | 賃借料 | レンタカー代 12,854 |
| 貯金利息 | 124 | 食糧費 | 石巻における食事代 37,383 |
| 収入合計 | 1,040,620 | 慶弔費 | 香典 5,000 |
| | | 雑費・消耗品費 | ガソリン代・アパート備品等 7,203 |
| | | 支出合計 | 91,640 |
| 次年度繰越金 948,980 | | | |
| ※今年度の「心のケア」およびそれに伴う学習支援活動は、文部科学省緊急スクールカウンセラー等派遣委託事業として実施。 | | | |

(2) 心のケア—カウンセリング報告

スクールカウンセラー 古林 康江

現地は本震災による余震が多発した平成 25 年度から少しずつ落ち着いてきているものの、大雨による冠水多発（休校も）や市では行方不明者（2,800 人以上）の捜索が今も続けられ、遺留品が見つかっている状況もある。更に、不登校児童も減少はしているものの少なくはない。又、他所で

の地震や火山災害の多発により落ち着かない児童の様子も多くみられた。

本年度のカウンセリング活動は、保護者や教職員の相談、中学校との連携、家庭訪問、支援会議へ参加等が多くなった。

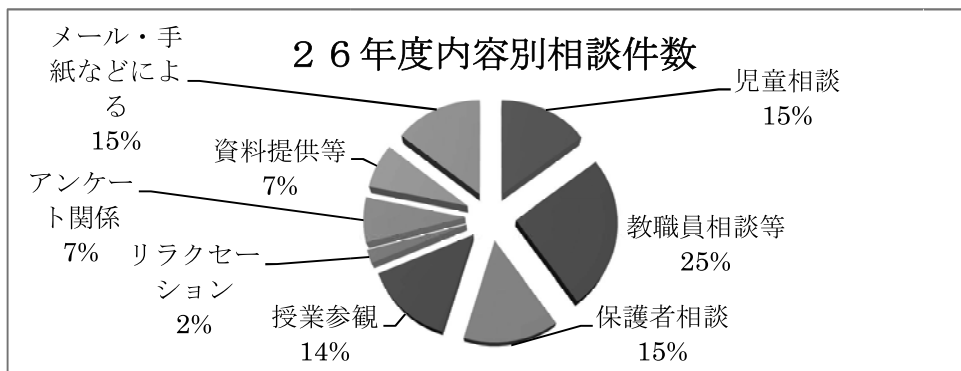
①相談件数

平成 26 年度相談件数～大街道小学校訪問 11 回（22 日）〈8 月は活動無し〉

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----------------|
| 回数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 11 回 (22 日) |
| 児童相談 | 4 | 4 | 4 | 5 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 5 | 1 | 36 |
| 教職員相談等 ^{※1)} | 10 | 8 | 4 | 7 | 9 | 6 | 7 | 6 | 9 | 9 | 8 | 83 |
| 保護者相談 | 6 | 4 | 6 | 2 | 3 | 3 | 5 | 3 | 2 | 3 | 5 | 42 |
| 授業参観 | 2 | 2 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 6 | 4 | 4 | 2 | 38 |
| リラクゼーション (G.C) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 1 | 6 |
| アンケートに関する相談 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 資料提供 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 4 | 21 |
| メール・手紙・家庭訪問等 〈中学校訪問 ^{※2)} 〉 | 1 | 4 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 5 | 27 |
| 合計 (述べ件数) | 24 | 23 | 23 | 22 | 21 | 20 | 23 | 23 | 24 | 29 | 26 | 258 |

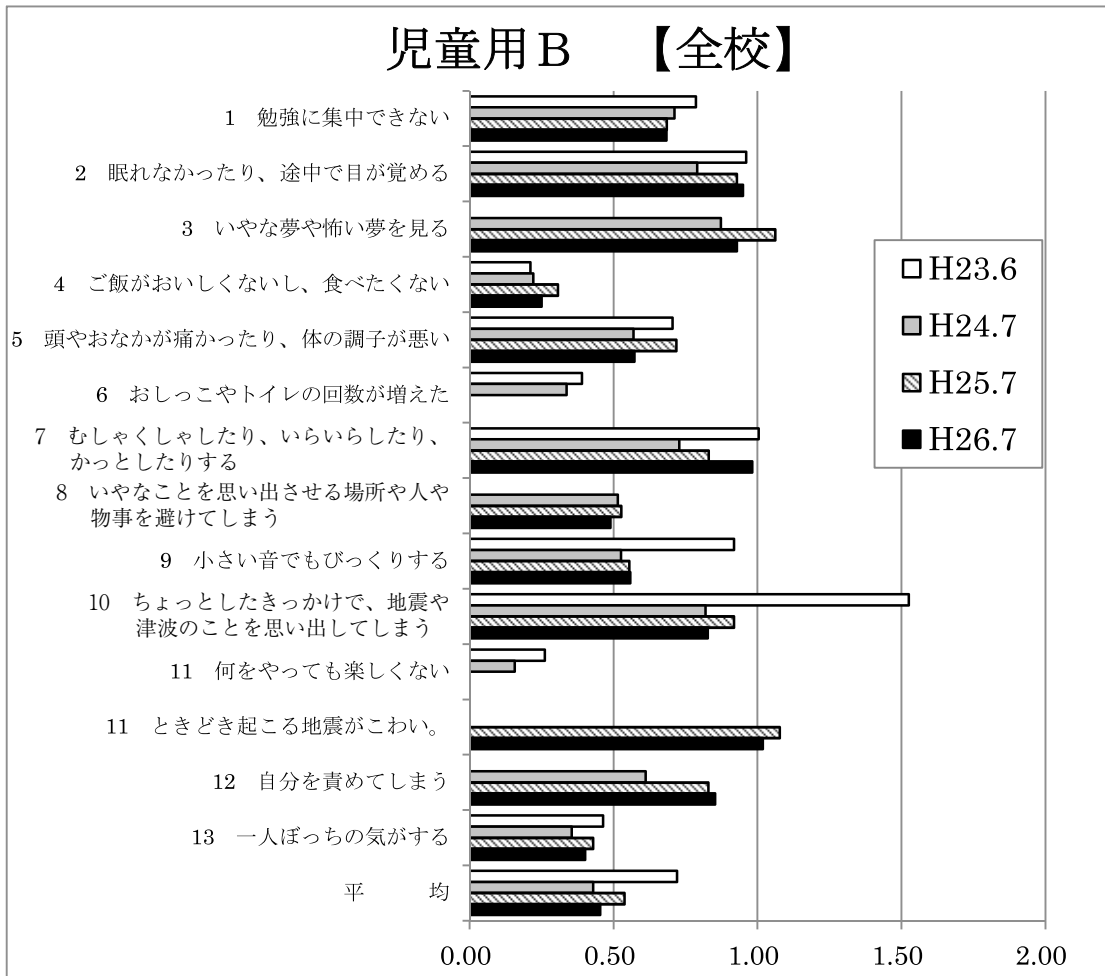
※1) 教員等とのコンサルテーション・ミーティング・支援会議 etc.

・支援会議 5 回、職員会 1 回など教職員一丸となって関わった（不登校等減少傾向に）※2) 門脇中学校訪問

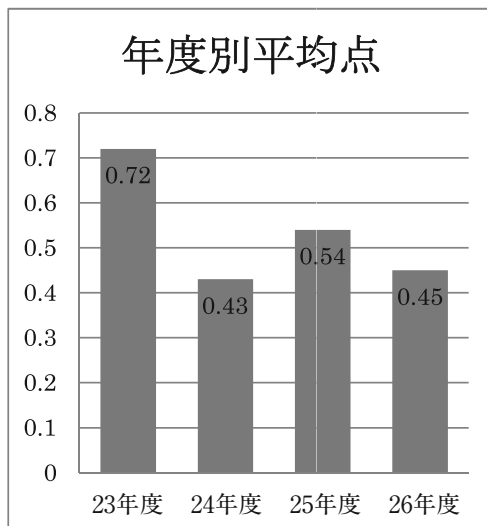


| 年度別 相談件数 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-------------|----------|----------|----------|----------|
| | 229 件 | 258 件 | 312 件 | 258 件 |

②大街道小学校「心のケアアンケート」による年度別比較（23年度から26年度平均値）



- ・昨年より、平均値が下がり、心と体が安定しつつあることが伺える。
- ・高得点（合計点が18点以上）の占める割合10.7%（30名）は、昨年より、やや減少。
- ・「時々起こる地震が怖い」「むしゃくしゃしたり等する」「眠れなかったり途中で目が覚める」「いやな夢や怖い夢を見る」項目の得点が高かった。
- ・「むしゃくしゃしたり、いらいらしたり、かっとなったりする」気持ちにどのように向き合うのかや良質な睡眠のとり方、リラクゼーションの方法などを支援したい。カウンセラーの資料の提供を元に養護教諭により呼吸法や筋弛緩法等クラス毎に行う。



4回（23, 24, 25, 26年度）のアンケートの結果から本年度に於いては全校平均点は微少ながら低下している。しかし、高得点児童の増加が見られ、冒頭に記述した児童の状況等鑑み、今後の支援の方向を模索・考察していきたい。

〈各個配布パンフレット 2015年3月11日〉

配布各個配布く、子どもの心のケア
もう一度の思いを込めて製作 第3段

～家庭・地域・学校から伝えよう～

あなたはとても大切な存在です！

* 家庭の主役は子ども *



絵「おかしなぼうしにみえどよ」 1年 阿部 結衣さん

- * 一日一度は 子どもの話に耳を傾けよう。
- 子どもと経験を共に感じよう。
- * 子どもたちはお金や物ではなく、
- 愛情・絆・肯定的注目を待っています！

松本大学 カウンセラー 古林康江 大街道小学校 養護教諭 高田公子

〈新聞掲載〉

2014年12月3日付 信濃毎日新聞

石巻で安曇野の臨床心理士調査

大震災 児童の心に回復傾向

PTSDになる可能性低下
親と子の時間は少なく「今後も注意必要」

臨床心理士の古林康江さん（安曇野市）が東北日本震災で被災した宮城県石巻市の大街道小学校の児童を対象に行ったアンケート結果を発表した。

「PTSDになる可能性は、震災前は約40%だったが、震災後は約25%に低下した」と報告した。また、児童の心のケアに必要だと感じた項目は、震災前は「心のケア」が最も多かったが、震災後は「心のケア」だけでなく、「生活の再建」も必要だと感じた。また、児童の心のケアには、保護者の理解と協力が必要だと指摘した。

古林さんは「震災後は、児童の心のケアは、保護者の理解と協力が必要だと感じた。また、児童の心のケアには、保護者の理解と協力が必要だと指摘した。」

PTSDになる可能性は（石巻市大街道小学校児童へのアンケート）

| 項目 | 2013年度 | 2014年度 |
|----|--------|--------|
| ある | 約40% | 約25% |
| ない | 約60% | 約75% |

（4歳以下）約31・1%（94人）から25・0%（70人）に下がった。古林さんが大街道小に通う中で、両親が共働きで面接相談の日程を合わせていく際もあった。古林さんは「親と子どもが接する時間が少なく、子どもが寂しく感じる場合がある。心のケアの強弱が心配」と話した。

阪神大震災後に兵庫県教育委員会が同県内の小中学校を対象にした調査では、震災から5年を経ても「心の健康に配慮」が必要だと感じた児童の割合が、震災前は約40%だった。古林さんや教員が努力した結果、今年は不登校の児童数が13年の5人から0人減った。

古林さんは「震災前は、震災直後には、児童の心のケアは、保護者の理解と協力が必要だと感じた。また、児童の心のケアには、保護者の理解と協力が必要だと指摘した。」

PTSDになる可能性は、震災前は約40%だったが、震災後は約25%に低下した。また、児童の心のケアに必要だと感じた項目は、震災前は「心のケア」が最も多かったが、震災後は「心のケア」だけでなく、「生活の再建」も必要だと感じた。また、児童の心のケアには、保護者の理解と協力が必要だと指摘した。

毎日新聞 3回シリーズ(記者同行取材による)

2015年3月5日付 毎日新聞

2015年3月6日付 毎日新聞

癒えぬ傷 減らない相談

中津川市で暮らす、30代の主婦Aさん(仮名)は、長女が中津川市立大街道小学校でいじめを受けた経験がある。長女は現在、市内の中学校に通っているが、いじめの経験からくる心の傷が癒えず、相談が続いている。Aさんは「いじめは、子どもだけでなく、家族にも大きな影響を与えている」と話す。

中津川市立大街道小学校の教職員からは、「いじめの相談は年々増加傾向にある」との声が聞かれる。また、市内の中学校でも、いじめの相談が増えているという。教育委員会では、いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの相談に対応しているが、相談件数は依然として多い。

心をつなぐ

松本大・4年目の石巻支援



ボランティア活動に参加する松本大生(仮名)と大街道小学校の児童(仮名)。

松本大学4年目の学生が、被災地の大街道小学校を訪れ、ボランティア活動を行った。学生たちは、児童たちと交流し、学習や遊びを通じて心をつなぐ活動を行った。

ボランティア活動は、3月4日(金)から5日(土)の2日間にわたって行われた。参加した学生は、大街道小学校の児童たちと交流し、学習や遊びを通じて心をつなぐ活動を行った。また、児童たちの生活環境や学習状況について、教職員と話し合いを行った。

児童100人の「兄や姉」

心をつなぐ

松本大・4年目の石巻支援



大街道小学校の児童(仮名)が、ボランティア活動に参加する松本大生(仮名)と交流している様子。

松本大学(松本)の学生が、被災地の大街道小学校を訪れ、ボランティア活動を行った。学生たちは、児童たちと交流し、学習や遊びを通じて心をつなぐ活動を行った。

ボランティア活動は、3月4日(金)から5日(土)の2日間にわたって行われた。参加した学生は、大街道小学校の児童たちと交流し、学習や遊びを通じて心をつなぐ活動を行った。また、児童たちの生活環境や学習状況について、教職員と話し合いを行った。

大街道小学校は、J石巻市の約2%の市街地にあり、石巻工業港から南に約1.5%内陸側に位置する。道路は日本製紙石巻工場をはじめ多くの工場や倉庫、事務所が集まり、その周辺に宅地が広がる。

震災後の津波で一気に壊れ込んできた大街道小学校は、震災直後の2011年4月1日時点で、当時の児童数2人、児童の母親4人が自宅を犠牲にした。学校周辺も高さ15センチまで浸水した。全壊した家が約10棟、児童の4割が親と別れに離れ、児童の4割が自宅に避難した。

2015年3月7日付 毎日新聞

380キロ6時間乗り越え

心をつなぐ

松本大・4年目の石巻支援



ボランティア活動に参加する松本大生(仮名)と大街道小学校の児童(仮名)。

松本大学4年目の学生が、被災地の大街道小学校を訪れ、ボランティア活動を行った。学生たちは、児童たちと交流し、学習や遊びを通じて心をつなぐ活動を行った。

ボランティア活動は、3月4日(金)から5日(土)の2日間にわたって行われた。参加した学生は、大街道小学校の児童たちと交流し、学習や遊びを通じて心をつなぐ活動を行った。また、児童たちの生活環境や学習状況について、教職員と話し合いを行った。

大街道小学校は、J石巻市の約2%の市街地にあり、石巻工業港から南に約1.5%内陸側に位置する。道路は日本製紙石巻工場をはじめ多くの工場や倉庫、事務所が集まり、その周辺に宅地が広がる。

震災後の津波で一気に壊れ込んできた大街道小学校は、震災直後の2011年4月1日時点で、当時の児童数2人、児童の母親4人が自宅を犠牲にした。学校周辺も高さ15センチまで浸水した。全壊した家が約10棟、児童の4割が親と別れに離れ、児童の4割が自宅に避難した。

大街道小学校は、J石巻市の約2%の市街地にあり、石巻工業港から南に約1.5%内陸側に位置する。道路は日本製紙石巻工場をはじめ多くの工場や倉庫、事務所が集まり、その周辺に宅地が広がる。

震災後の津波で一気に壊れ込んできた大街道小学校は、震災直後の2011年4月1日時点で、当時の児童数2人、児童の母親4人が自宅を犠牲にした。学校周辺も高さ15センチまで浸水した。全壊した家が約10棟、児童の4割が親と別れに離れ、児童の4割が自宅に避難した。



—変わりゆく学校の周囲—



—塩害か、花も枝も徐々にまばらになった校庭の桜—



学習支援の打ち合わせ 12.11~12 学生 11名



漫画の石巻復活！ JR 仙石線開通 2015. 4.16